

令和4年度 児童発達支援 保護者向けアンケート結果

事業所名: ぞうさんのぼうし

公表日: 2023年3月31日

保護者等数 (児童数) 34 回収数 53 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2	0	1
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	1	5
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	2	0	7
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1	0	2
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	0	1	0
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	1	4
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1	0	0
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	3
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	2	9
の 説明 等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	0	0	2

	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	0	1	3
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	15	1	0	2
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	3	0	0
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	0
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	8	7
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	3	1	2
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	2
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	3	0	3
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13	5	0	0
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	0	1	5
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	7
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0	0
	23	事業所の支援に満足しているか	15	2	0	1

令和4年度 事業所評価結果を受けて

ぞうさんのぼうしが開所して1年が経ちました。毎日たくさんのお子さまにご利用いただき感謝申し上げます。そして、3月にはぞうさんのぼうし1期生が卒業されました。

一年という短い時間ではございましたが、「ぞうさんのぼうしに遊びに絶対くるからね」「ぞうさんのぼうしで働くからねまってね」などうれしいお言葉を子どもたちにいただくことができました。皆様と出会えたご縁を大切に、これからもお子さまたちの成長を見守らせていただけたら幸いです。今年度より事業所アンケートを実施させていただきました。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

【事業所アンケート結果】

・評価が高かった項目

- ⑤子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか
- ⑦児童発達支援計画に沿った支援が行われているか
- ⑧活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか
- ⑩運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか
- ⑫保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか
- ⑬日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか
- ⑭定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか
- ⑳子どもは通所を楽しみにしているか
- ㉓事業所の支援に満足しているか

今年度カンファレンスを行いお子様の支援経過等を確認しながら、保護者の方たちと面談・家庭支援プログラム等を進めてきました。その結果上記アンケートに関して高い評価をいただけ職員にとっても励みとなる結果をなりました。

・評価が低かった項目

- ⑨保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか
- ⑮父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

⑨に関しては、幼稚園・保育園に通われているお子さまも多く、現在は交流の機会を設けておりません。今後インクルーシブ教育を進めていくうえで必要となるため取り組むべきシステムを検討していく。

⑮に関しては、今年度コロナ渦では取り組みが困難であった。

・その他

⑫職員の配置数や専門性は適切であるかという設問に対しては、人数に関しては横浜市の規定人数を超えているため、より専門性を高めるためにも外部研修も取り入れながら専門性（療育の質）の向上を図り

ます。

⑳㉑の非常時等の対応の項目につきまして、毎月防災訓練は行っているため、保護者の方への伝えかたの改善が必要となります。

こちらのアンケート結果をもとに改善につとめ、良い療育サービスが提供できるよう日々精進してまいります。 以上